

ほん この本よむぞう



みずきまちとしょかん ほん
水巻町図書館 子どもの本
こんげつ
今月のおすすめ
2022年4月号

さあ新学期！新しい気持ちで、本との出会いを楽しみましょう。



「シェルパのポルパ
かせい やま
火星の山にのぼる」
いしかわ なおき ぶん
石川直樹/文
なしき よう え
梨木 羊/絵
いわなみ しよてん
〈岩波書店〉



「えんとつと
ほつきよく
北極のシロクマ」
ふじわら こういち しゃしん ぶん
藤原幸一/写真と文
しょうねん しゃしん しんぶん しゃ
〈少年写真新聞社〉

ヒマラヤでくらすシェルパ(山のぼりの手伝いをする人)のポルパは、火星にエベレストより高い山があることを知り、のぼりに行く決心をしました。火星についてみると、地球とはまったくちがう山のぼりが待っていました。

北極から 3000 km 南にあるえんとつからはきだされた黒いけむりは、美しい北極でくらすシロクマやアザラシたちにもとどきます。地球温暖化や、人間が出す「どく」のひがいを、生きものたちの写真がうたえてきます。

「ぼくちのねこのはなし」
いと うみく / 作
そしき だいすけ え
祖敷大輔/絵
くもん 出版

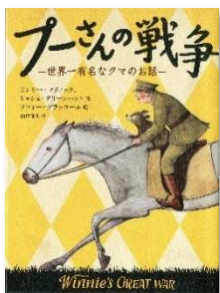


ぼくが生まれた時から家族だったねこの「ことら」。人間だったら80歳くらいなんだって。そのことらの元気がなくなって、ごはんも食べなくなった…。ぼくとお母さんは動物病院に通いながら、大切なことらの命のことを考えます。

「サクラ
はる なつ あき ふゆ」
おくやま ひさし / 作
くぼるぶ 出版



毎年わたしたちを楽しませてくれるサクラの花。春に花を咲かせるために、葉や枝や幹は一年かけて準備をします。発見がいっぱいの、美しい科学絵本です。



「プーさんの戦争
せんそう
せかいいち ゆうめい
世界一有名なクマのお話」
リンジー・マティック/文
ジョシュ・グリーンハット/文
リフイー・ブラッコール/絵
やまぐち ぶみお やく
山口文生/訳
ひょうろん しゃ
〈評論社〉



「和ろうそくは、つなぐ」
おおにし のぶお ちよ
大西暢夫/著
くアリス 館

世界中で愛されている「クマのプーさん」。モデルになったクマが本当にいたのを知っていますか？カナダで獣医隊の兵士と出会い、戦地イギリスへの旅に同行したクマの、実話をもとにした心温まる物語です。巻末に貴重な写真がのっています。

和ろうそくに関心を持った作者は、その材料や作り方をたどっていきました。すると藍染、やきもの、和紙、墨などの様々な職人技につながっていることがわかります。日本のものづくりには捨てるものがなく、いろいろな循環があることを教えてくれる写真絵本です。福岡県も出てきますよ。



しょうがくせい きょうかしょ
「小学生教科書
まるごとクイズ大全」
とうきよう しょうせき しゅつばん じぎょう ぶ へんちよ
東京書籍出版事業部/編著
とうきよう しょうせき
〈東京書籍〉

1年生から6年生まで、主要科目の基本問題がクイズ形式で約1200問。選択式の問題なので、気楽に見ながら復習ができますよ。